

# 令和 5年度予算見積調書

課室名: 会計課  
 担当名: 予算係  
 内線: 2233

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P19	警察署等冷暖房設備改修費			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設維持管理費		
事業期間	平成18年度～ 令和5年度	根拠 法令	警察法			針路	02 県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	16	
						分野施策	0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化	SDGsターゲット	16-6	
<b>1 事業概要</b> 近年は夏の気温が著しく上昇しており、冷房の不具合は、来庁者や職員の体調悪化に直結するものであるが、警察署等の冷暖房設備は、耐用年数を超過して使用しており、劣化により種々の故障が発生している。また、メーカーによる修理対応も経年により困難となってきたことから、計画的な予防保全を推進する。  冷暖房設備改修 457,843千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 冷暖房設備改修 457,843千円 ア 冷暖房設備更新 本部第一留置施設、杉戸警察署 イ 冷暖房設備オーバーホール(大宮西警察署、新座警察署、寄居警察署、上尾警察署、児玉警察署) ウ 中央監視装置更新(上尾警察署)  (2) 事業計画 ア 令和6年度 (ア) 冷暖房設備改修 草加警察署(第1年次)、東松山警察署、本庄警察署 (イ) 冷暖房設備オーバーホール(秩父警察署、幸手警察署、武南警察署、西入間警察署) (ウ) 中央監視装置更新(浦和警察署) イ 令和7年度以降 個別計画に基づく整備  (3) 事業効果 警察署に来署された県民へのサービス、警察署等勤務員の執務環境及び被留置者に対する処遇維持、並びに各種設備の効率的運転を図ることができる。また、省エネ機器へ更新することにより、光熱水費の削減及び環境負荷の低減が可能となり、更新までの期間がある機器について予防保全を実施することで、突発的な高額修繕を抑制し、維持管理経費を削減する。						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)										
<b>3 地方財政措置の状況</b> (1) 地方債の充当率 90% (2) 地付税措置 元利償還金について、その30%を基礎財政需要額に算入										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> なし										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
		県債								
決定額	457,843	457,000						843	221,223	
前年額	236,620	236,000						620		

## 事業内訳書

事業名	警察署等冷暖房設備改修費		
単位事業名	冷暖房設備改修	予算額	457,843千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	66	33	事務費
委託料	16,541	10,308	冷暖房設備改修等に係る設計委託料
工事請負費	441,236	210,882	冷暖房設備改修等工事費
合計	457,843	221,223	